

作：宮本研

花いちもんめ

劇団ひとりっこ第3回定期公演



おけうちのいこ・ひとり芝居

2016年

8月11日(木)祝日(山の日)

場所：宮城野区文化センター・パトナシアター

宮城野区五輪2丁目 12-70 JR仙石線「陸前原ノ町駅」下車すぐ

午前の部	午前11時開演(午前10時30分開場)
午後の部	午後2時開演(午後1時30分開場)

料金：大人 1000 円(予約 800 円)高校生以下は半額**(全席自由)**

主催：劇団ひとりっこ 問合せ 090-9428-3782

後援：仙台市・公財) 仙台市市民文化事業団・仙台シニア劇団まんざら

チケット取扱い	平成 28 年 6 月 11 日より発売開始	
予約方法：劇団ホームページ、E-mail、FAX、お電話にてご予約ください。		
劇団ホームページ	http://hitorikkogeki.jimdo.com	
E-mail	hitorikkogeki@gmail.com	Fax&留守電 022-227-3782
プレイガイド：せんだい演劇工房 10-BOX (窓口販売のみ・電話予約は不可)		
Web 予約	https://tiget.net/events/4342	
<p>★お名前・ご連絡先・午前午後の区分・ご予約枚数を明記の上ご連絡ください</p> <p>★返信をもって予約完了となりますので、返信の無い場合はご連絡ください。</p> <p>★ご予約の締切は 8 月 9 日(火)とさせていただきます。</p>		

◆ 戦後71年 ◆ 忘れてはならない日本の歴史です

あらすじ 1982年5月作・作者：宮本研

“満州”という希望の大地、「王道楽土」「五族協和」の夢に憧れて渡った大地。しかし敗戦によって見棄てられ、子を捨てざるを得なかった開拓村の母の物語です。
8月9日、日ソ不可侵条約を破ってソ連軍に攻められハルビンをめざしての逃避行。橋は関東軍に破壊され、満州という広大な大地を食料もなく彷徨う「死の旅」であった。手榴弾で自決する「母と子」、離ればなれになっていく「母と子」。
中国残留孤児は、こうして中国に残された「日本人の子ども」なのである。帰国して数十年後、「母」は深い哀しみの心を抱いて、訣別と贖罪の旅・「遍路」の旅にでる。

自分も同じ境遇を味わっていて心が痛む (70代男性)

実父も満州引揚げ者、改めて戦争を実感した (40代女性)

戦争は絶対ダメ! (70代女性)

感動しました、涙がこぼれました (50代女性)

観劇者のおことば：アンケートより抜粋

よく情景がわかり、時代に思いをはせる事ができた (60代女性)

日本が犯した暗部。謝罪の心いつまでも (80代男性)

長く公演を続けて、若い方にも是非観て頂きたい (60代女性)

★ご協力下さった皆様

演出協力：大石 和彦
舞台監督：澤野 正樹 (短距離男道ミサイル)
舞監協力：八尾坂 彰 (仙台シニア劇団まんざら)
照明：羽田 貞浩 (Lighting Design)
照明協力：沼田 益偉 (仙台シニア劇団まんざら)
音響：佐藤 智哉 (東北大学学友会演劇部)
音響協力：庄子 勝義 (仙台シニア劇団まんざら)
三味線：山本麻佐子 (浄瑠璃含む)
映像：桐島レンジ
映像記録：根元 正
制作協力：柴田 環

★お席は全席自由席となっております★

会場案内：宮城野区文化センター・パトナシアター
JR 仙石線：陸前原ノ町駅下車すぐ
仙台市営バス：仙台駅前 18 番・50 番 51 番のりば
宮城野区役所前下車すぐ (青葉通り野村証券前)

